



♪ 学校トイレで多分野連携アプローチの可能性をさぐる

(九大人環「学校トイレ研究会」)

担当教員



元兼 正浩*

教育システム専攻
motokane.masahiro.720@m.kyushu-u.ac.jp



鈴木 隆子

教育システム専攻
tsuzuki@flic.kyushu-u.ac.jp



志波 文彦

空間システム専攻
shiwa@arch.kyushu-u.ac.jp



増田健太郎

実践臨床心理学専攻
q-ken@hes.kyushu-u.ac.jp

*は取組コーディネータ

トイレ関連企業によって 1996 年に発足した「学校のトイレ研究会」設立趣旨は次の通りです。

住生活の向上により、住宅はもとより、デパートを始めとする商業施設や、オフィス、駅舎などのトイレも従来に比べて随分改善されてきました。一方、学校のトイレは、ソフト・ハード面でまだ十分に改善されておらず、加えて校舎の老朽化に伴い公立学校のトイレは子どもたちから5K(汚い・くさい・暗い・怖い・壊れている)と揶揄され、学校で排便を我慢する子どもたちの健康が危惧されていました。子どもたちにとって、学校のトイレは健康面・心理面から深刻な問題であり、また一日の大半を過ごす生活の場

として、さらに地域開放や災害時の避難場所としても早急な改善が望まれています。

しかし、2012 年現在、残念ながら学校トイレをめぐる諸課題は解消されていません。こうした問題意識に寄り添い、教育学・心理学・健康科学・学校建築学といった上記の課題に対応できるプロパーを擁している本研究の観智を結集して、多分野連携アプローチの可能性を探る研究会を人環内に立ち上げます(通称:九大人環「学校トイレ研究会」)。本年度発足の新規プロジェクトですので、随時メンバーを募集しております。ぜひいろんなかたちでご参加いただけると幸いです。

概要および活動内容

学校トイレは単なる学校施設の問題に留まらず、利用者である子どもへの教育や心理、健康面に関わる学際的な研究題材を提供してくれます。この領域に関して異分野相互の連携による学際的研究の蓄積は未だ十分ではなく、これらからの取り組みが期待されている状況です。

そこで定期的に研究会を開催し、担当教員や所属院生・学生による話題提供、ゲストスピーカーによる講演、また先進事例の実地見学等を通して、分野の枠組みを越えた議論を行い研究の到達点を確認し、多分野連携アプローチのあり方をさぐります。

研究到達目標

学校トイレで**多分野連携アプローチの可能性**追求

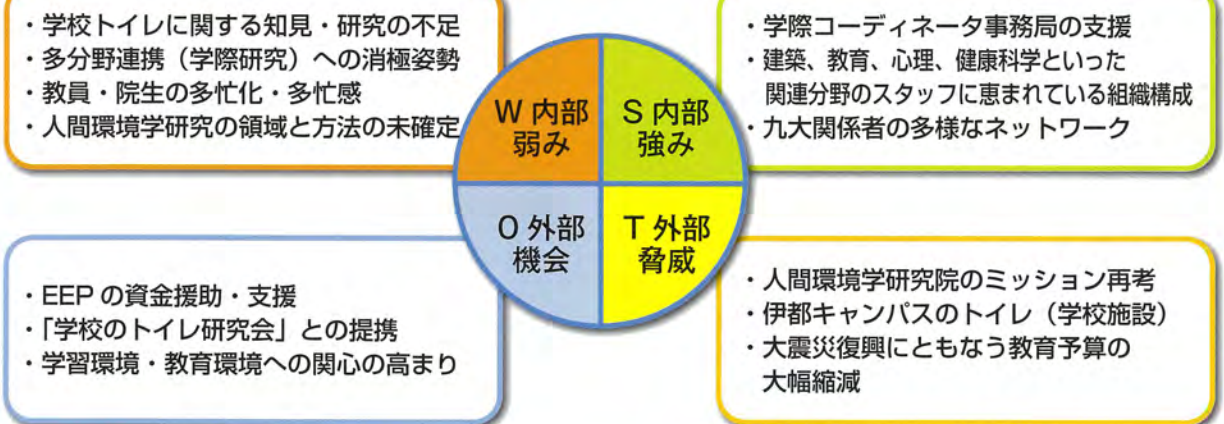
今年度力を入れている
取り組み

学校トイレ先進事例見学会 (北九州市立思永中学校、他)

各分野講師招聘 (学校建築、教育学、健康科学、心理学、…)

- * 上記の見学会及び講師講演会を開催するための多分野連携会議を実施します。
- ** 会議議事録、見学記録、講演録などの記録化(アーカイブ)につとめます。
- *** 研究成果を踏まえて、新たな方法論の開拓と外部資金の獲得をめざします。

SWOT 分析



参考事例



学校のトイレ Vol.10/23より
福岡県立輝翔館中等教育学校 多目的トイレ



学校のトイレ Vol.11/17より
下関市立豊北中学校 男子個室トイレ(右)